

平成 29 年 4 月 1 日

腎臓内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の  
患者さんまたはご家族の方へ

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ひ-

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

IgA 腎症に対するフィッシュオイルの治療効果の検討

[研究機関] 東京女子医科大学病院腎臓内科

[研究責任者] 新田孝作 東京女子医科大学腎臓内科教授

[研究の目的]

IgA 腎症に対する治療法として、フィッシュオイルの成分である EPA の製剤エパデールと EPA と DHA の製剤ロトリガの治療効果を比較します。

\*EPA: eicosapentaenoic acid, DHA: decosahexaenoic acid

[研究の方法]

●対象となる患者さん

IgA 腎症の患者さんのなかで 2014 年の間にエパデールからロトリガに内服変更された方

●利用するカルテ情報

変更時の年齢、性別、生年月日、血圧、採血・尿検査結果、治療、変更前後半年の血圧、脂質、腎機能、尿所見の推移

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院腎臓内科 担当医師 森山能仁

電話 03-3353-8111 FAX 03-3356-0293